



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033~4
編集人 森 卓
半年間1,800円送料共
振替口座番号
労働金庫大牟田支店
825-普通 2612963



団結して旗を守り抜く

行動方針・予算決め定期総会終わる

一九九三年度の三池炭鉱定期総会が十一月二十八日、午前九時から労働金庫大牟田支店ホールで開かれ、いっしょに厳しさを増す第九次石炭政策のもとで情勢に屈せず、団結して旗を守り抜くための行動方針と予算を決定したあ、大会宣言、スローガンを採択しました。

組合歌「炭掘る仲間」の全員合「へ死に」以上敬称略、分編成順) りましよう」とあいさつしました。 唱で始まった定期総会は、議長団 来賓として炭政治局代表の細 のあいさつ、黙とうなどのあと一 表彰状と記念品を受けとることも 年間の退職者表彰(中原一、松里 にお礼と決意を述べました。 団体代表として西岡熊本県評セン ター事務局局長、紀平参議、日本社 会党の長谷川大牟田総支部委員長、 共産党の笠原三三三国政対策委員長、 労働金庫・労働協を代表して林熊 本労働理事から激励と連帯のあ いさつを受け、田中代表秘書の 山内氏、山下社会党熊本本部書 記長、蒲池・前川・柁島・田島・ 大橋・島・大場の各市議、松里市 議、横溝連合福岡副事務局長、木 村荒尾地評センター議長、森田退 職者の会事務局長、松平荒尾労働 支店長が紹介されました。

また、炭労道委員長、田中代 議士、蒲池福岡県評センター理事 長、石橋連合福岡県南筑後地域協 議会議員、坂田連合荒尾玉名地域 協議会議員、酒井熊本県議、本田 労働大牟田支店長からの祝電・メ ッセージが紹介されました。

報告事項では、一九九二年の 決算と監査について報告され承認 されました。

議事に入り、一九九三年度の行 動方針についての説明のあと質疑 討論を行い、七人の代議員が石炭 情勢と三池炭鉱の展望、情勢のと らえ方、細川連立政権の評価、政

1993年度三池労組定期総会



「会館」建設へ 工事の安全願い起工式



三池労組の歴史と伝統を受け継 ぎ、今後の運動の拠点として長期 的に事務所を確保することなどを 目的として「三池労組会館」の建 設が始まりました。

十一月二十七日、午前十時から 現地で行われ、諏訪神社 の宮司が斎主となって神事を進め、 刈初めの儀では田口組合長が鎌を 入れました。(写真)

また、同組合長はじめ阿貝根元 参議院副議長、伊東建設委員長、 森田退職者の会事務局長、山下高 砂町公民館長ほか工事関係者が玉 串を捧げ、工事の安全と来年五月 末までに立派な会館が竣工するよ う祈りました。

協力・連帯を基礎に —就任のごあいさつ—

組合長 森 卓

今年度の役員改選で、田口前 組合長の後任として組合長に信 任されました。

三池労組が結成されてからや がて半世紀になりますが、その 永い歴史をかえりみると、幾多 の苦難や紆余曲折を克服しなが ら「労働組合とは何か」を明ら かにしてきました。

それは、働く者の命とくらし、 権利を守る者として、統一と団 結の旗をかたけ守りながら、広 範な労働者と地域住民との連帯 のために粘り強くたたかいたく ことです。

今、私たちがとりまく情勢は、 厳しいと同時に不透明であり、 とくに三井企業の置かれた状況 がいさつといたします。



三池鉱で死亡事故

三池労組 ストで抗議

十一月二十四日午後二時九分、 内使用予定のブラスターエアー、 三池炭業所三池鉱の坑外作業、 コンプレッサの試運転を実施中、 三インチゴムホース(長さ約三メ ートル)がコンプレッサの吐出 側でジョイント金具がはずれ、 連企業の三池建設有明事業所坑外 係長、日登正一さん(四八)三 池郡高田町浦二が胸部を強打し 重傷を負いました。

災害原因は、三インチゴムホー スジョイント締め付け部の不適切 によって接続部がはずれたものと 思われます。

この重大災害に抗議して三池労 組は二十六日、各方向一時間五分 の時限ストライキを実施しました。 なお、十二月十四日に開かれた 対策会議では、当該箇所は鋼管は 鋼管および鋼管継手を用いて行っ たり、やむを得ずホースを使用する ときは、継手スチーム部に凸凹の形 状を施したものを使用し、締め付け は専門バンドを用いる。などの対 策を決めました。

九次策の完全実施を 石炭労協が総会と中央行動

石炭労協は十二月八日、東京 の協力を要請する中央行動を突 けて定期総会を開いて二年目を 迎えている第九次石炭政策の完 全実施と補強・補完を求める提 言を採択しました。また総会後、 関係省庁や産炭地域選出の国会 議員などに対して、提言実現へ



提言は、九次策の補強・補完 の立場から石炭対策特別会計の 存続と財源確保を前提に、①採 掘・坑内条件が異なる各炭鉱の 課題別の助成策の展開、②新分 野開拓推進による各種補助・融 資制度の拡充、緩和、③近い時 期の閉山が予測されている住友 石炭赤平炭礦の雇用と地域対策 など、緊急的な政策的支援など を求めています。

63年度改選による 新態勢が発足

今年度の定期総会のあと役員改選が実施され、第一回委員 会が十二月六日に開かれ、新しい執行部ははじめ委員が選任、 確認されました。

機関構成

執行部	組合長 森 卓(非常任)	3分會	〇柁島 敬三(資材)
書記長 芳川 勝(常任)	伊東 猛(資材)		
監査員	田中 精一(外機)		
監査員	工藤 光重(安全灯)		
会計監査 田中 國洋(非常任)	4分會	〇沖 克太郎(外特)	
会計監査 青田 秋夫(非常任)	5分會	〇市成 義弘(鉄道)	
議長 長 柁島 敬三(3分會)	(〇印は職場分會長)		
副議長 長 野田 忠義(1分會)	保安担当者		
委員	保安委員 黒田 勝儀		
1分會	〇太田 千歳(内電)	坑外保安担当 伊東 猛	(三池鉱)
野田 忠義(内機)			
2分會	〇片山 末吉(内電)	安全衛生委員 猿渡 章博	(本所)
安藤三郎(内電)			